

樋口銅牛 いひくさ 俳人、書家。慶應元年十一月、千日筑後國生れ、昭
 和七年一月十五日歿（一八五—一九三二）。本名善夫。別號得川、東涯、漢
 學老人、默銅牛等。鹿兒島縣立第一中學校教員、陸軍幼年學校教員、
 『九州日報』記者等を経て、明治四十二年『東京朝日新聞』入社。俳
 壇選者と務め大正元年浪社。爾後早稻田大學、法政大學講師など。
 著書『俳諧新研究』（明治四十二年十一月）二十五日隆文館）、『漢字
 雜誌』（明治四十二年十月）二日郁文舎・阪吉風實文館）、『俳諧
 車』（明治四十二年十一月）二十五日樂山堂書房。附録『刀洗會句存』、
 寺河靜軒著『新釋江右繁昌日記』（譯註、明治四十四年二月十五日白華書
 房『十錢文庫』）、『禪法帖談—附孫過庭書譜—附漢歷代法書』（明治四十五年
 二月七日玄黃社）、楊守敬著『學書通言—附蘇老人年譜』（校訂、
 大正元年九月五日法書會出版部、西東書房發賣）、『學書通言疏釋』
 （大正十五年十一月十日西東書房）等。

